



広島
報

とみおか

3

No.593
震災特集号



復興へ願いを込めた千羽鶴

望郷 私たちを待ち続けるふるさと富岡

富岡町長 遠藤 勝也

未曾有の被害をもたらした東日本大震災及び原子力発電所事故による原子力災害の発生から、早くも一年が経ちました。この災害で犠牲となり、また避難中にお亡くなりになった皆様とその遺族の方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、未だ行方不明と知られている方々にあつては、一刻も早くご家族のもとに戻れることを心から願っております。また、全国各地で避難生活を余儀なくされている町民の皆様にお見舞いを申し上げます。

私たちは、この一年、まさに「流浪の民」でした。守り守られ、馴染み育った地を離れ先の見えない不安の中で送る日々は、私たちの心も体も疲れ果てさせていきました。家族や知人、そして家や家財、仕事、ふるさと、その中で大切な思い出など、多くのかけがいのないものを失った皆様の悲しみは言葉では言い表せないものと拝察いたします。加えて、原子力災害により避難を余儀なくされ、やり場のない憤りのなかで避難生活を送らざるをえないなど、二重の悲しみと悔しさをかかえ日々を過ごされているものと思います。

今後予定されている避難区域や警戒区域の見直しは、本格化する除染作業やインフラの調査、整備など復旧、復興に向けての第一歩の歩みであり、町や皆さまの将来及び今後の生活設計に向けて一つの転換点となるものであります。しかしながら、安易な線引きは町の一体感を壊すものであり決して許されるものではなく、見直しにおいてはこれらのことを十二分に考慮し検討した上で行っていただくことを強く国に要望しております。このような状況の中で、町と

いたしましては、当分、避難生活の長期化は避けられないことから、福祉や健康等の分野において、できる限り通常時の行政サービスの水準に近づけられるよう機能の回復に努力するとともに、除染、インフラ整備、そして中間貯蔵施設等の問題、あるいは賠償問題の迅速な解決、町内外における復興住宅の建設、条件整備後の帰還希望者または当面帰還しない、できない方の把握と各々状況に応じた行政サービスのあり方などについて、復興ビジョンを基にした復興計画の策定を急ぎ対応を図って参りたいと考えております。

大震災以降、国内外の多くの方より温かいご支援をいただいております。この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。私たち被災者のみならず、多くの方々が福島県、さらには東日本全体の復旧、復興を祈り、願っていることと思えます。その切なる思いをかなえ実現するためにも、共に考え、共に手を携えて一歩ずつ歩んで行かなければなりません。

富岡の海をわたる風、山の実り、どこまでも青く高い空、私たちの故郷は、今もずっと私たちを守ってくれています。私たちに「生きる力を持つ」と呼びかけ、私たちが帰る日を待ち続けています。双葉郡、福島県における原子力災害は、現世代ばかりでなく、孫子の世代まで影響を与える世界的にも重大な問題であります。その克服のために、私自身先頭に立って頑張って参りますので、ぜひ皆様のお力添えをお願いしたいと存じます。

3・11を忘れないー東日本大震災追悼式

各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災から一年。津波など、災害関連でお亡くなりになられた方々の追悼式が、三月十一日、郡山市の迎賓館グランパレスで営まれました。

式には、ご遺族や町民など約四百五十人が参列。政府の式典に合わせて黙とうを捧げたあと、遺族代表の平山貴裕さんが「亡くなった両親が生きた富岡町はもはや見る影もありません。一日も早く富岡町が元の姿に戻ってほしい」と追悼の言葉を述べました。

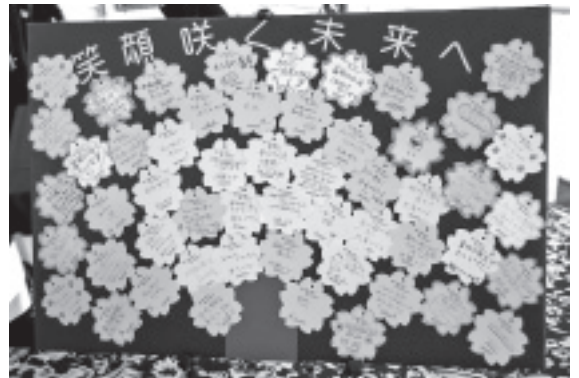
また、第二部の式典として咲くら・希望のつどいが行われ、遠藤町長が「三月十一日を富岡町さくら希望の日とする」と宣言し、富岡小・中学校三春校と富岡高校に通う生徒7人が「富岡町の復興を信じて、私たちは大好きなふるさとを離れて学んでいます。私たちにあるのは希望です」とメッセージを朗読しました。



富岡の海をイメージした祭壇



追悼の言葉を述べる平山さん



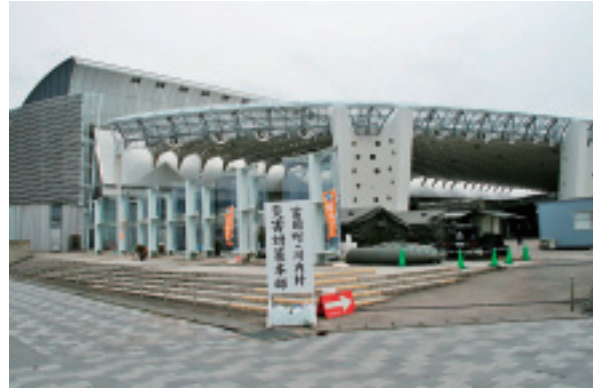
小・中、高校生による「咲くら希望のメッセージ」



えぬ記憶、そして復興へ

平成23年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内における観測史上最大規模のマグニチュード9を記録。富岡町にも甚大な被害をもたらし、多くの尊い命を奪い去りました。

追い打ちをかけるように、福島第一原発で人災ともとれる重大事故が発生。水素爆発、放射能拡散という最悪のシナリオから、私たちが生活を育んできた福島は世界の注目を浴びる「フクシマ」となり、人々に怒りと苦しみを、そして試練をもたらしました。



最大2500人が身を寄せたビッグパレット



全国から寄せられた激励



動物にも平等な命が…



ボランティアによる炊き出し



津波により崩壊したJR富岡駅



天井が落下したリフレ富岡



瓦礫の中での捜索



避難者で溢れ返った学校体育館



野生化した牛もまた被害者



避難生活の中、やすらぎのひとつ



西へ…古里を後に避難する車列

東日本大震災 —— 忘れ



打ち上げられたままの漁船

大震災から一年。東北各地で復興が進む中、県内、特に警戒区域内では、未だ先の見えない状況が続いています。しかし、あの日から止まったままの時計を動かし、物心両面からご支援をいただいた全国の方々の恩に報いるためにも、再生と復興を信じ前へ進まなくてはなりません。

そしていつか、私たちがどんなふうにも希望をつなぎ生きて来たかを、次の時代を担う子どもたちにも伝えること、それも復興とともに私たちが行うべき大切な事がらなのかもしれません。



姿を変えた富岡漁港



繰り返り沿岸地域に襲い掛かる巨大津波



懐かしさと悔しさが入り混じった一時帰宅



人影が消えた富一小前通り



消防団による線量モニタリング



モデル事業による一般家屋の除染



管原 菊さん
富岡一小6年
(本町)

三月十一日に起きた震災は、今でも頭に残っています。今、通っている「富岡第一小学校」では、友達を作る事もできました。楽しい行事も多くてうれしいです。

でも、時々学校を休みたい

なあと思う日があります。それでも学校に通い、その一日を過ごす中に、楽しい事、うれしい事ができます。このように、普通に過ごせるのは家族のおかげかもしれません。家族やまわりの人に感じやしながら、たくさんの思い出を作りたいと思います。



渡邊 蒼也君
富岡一小6年
(中)

三月十一日、あの震災は今でも忘れられません。現在、僕は三春にある富岡第一小学校に通っています。この学校

に来て、室内プールでの水泳学習、東京への修学旅行、会津への遠足、科学館見学などの体験をし、たくさんの思い出ができました。でも、前の富岡町の方が楽しかったと思う時もありました。早く故郷に帰れる日が来ることを願っています。

今、あたり前に生きている；それを幸せに思い、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



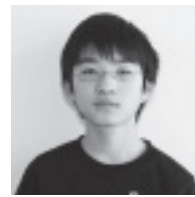
芳賀 麻弥さん
富岡二小5年
(大菅)

地震の時、家族はぶ事なのか、それだけが心配でした。親が学校にむかえに来た時、親がどれだけ大切かが分かりました。

原発がばく発し、みんながひなを始めました。友達もそれぞれの家族とひなしたので、友達とも別れ、さびしかったです。

一年たった今、富岡第二小学校が三春町にできて、友達と再会できたので、とっても

とっても幸せです。早く放射線が無くなり、美しい富岡町にもどれますように。



三瓶 慶弘君
富岡二小6年
(仲)

僕は地震の時、学校の体育館にいました。ゆれ方がすごくてびっくりしました。おじいちゃんの家へ帰りました。が、原発事故があり東京へひなんしました。その後、小野

TOMIOKA へ、私の歩み～

町、大玉村へとひなんしました。七月に大玉村の仮設住宅に引っ越し、お父さんと一緒に生活できるようになったのでうれしかったです。九月から三春町の富岡第二小学校へ転校しました。今でも、早く富岡町に帰りたい気持ちでいっぱいです。



高木 みさきさん
富岡一中2年
(清水)

私は今、郡山市の仮設住宅に住んでいます。また、学校は三春町につくった富一中に通っています。

震災前八十三人だった同級生が今は三人になってしまいい、とても静かで辛いです。でも、同級生や先生たちと明るく、そして笑顔でがんばっています。

東日本大震災から一年、色々な人たちの支援をいただいて、今こうして豊かな生活が送れています。これから、その支援を忘れずに生活し、震災を風化させないようにしていきたいです。



渡辺 翔君
富岡一中3年
(栄町)

僕は今、三春町の仮設住宅に住んでいて、三春町で再開した富岡第一中学校に通っています。

大震災の影響で、同級生の多くと離れてしまい、現在の学校に通っている三年生は僕ともう一人だけになってしまいました。寂しいけれど、他の中学校に通っている皆も、周りは知らない人だらけの中で、悲しい事や辛い事を乗り越えて頑張っていると思います。だから僕たちも、自分の進路や将来に向けて前向きに頑張りたいと思っています。



持館 夏純さん
富岡二中2年
(高津戸)

震災から一年が過ぎ、今の環境にもやっと慣れてきました。避難生活を続けていることに変わりはありません。

震災直後は友達に会えず、毎日寂しくて悲しかったです。でも、三春校に来てからは友達と再会でき、毎日が楽しいです。慣れてきたことで、勉強も集中してできるようになりました。しかし、快適な学校生活とはまだ言えません。東日本大震災が多くの人々に忘れられていくのは悲しいです。苦しい生活はまだ続きますが、富岡に戻れると信じたいです。



君也 藤 裕也
富岡二中3年
(仲町)

避難した時は、色々な不安がありました。ですが今、富岡二中に戻ることができ、前の友達と再会し元気に過ごしています。

僕は三年生なので、志望校の選択に悩みました。高校入学後は陸上をしたいと思って、郡山の私立の高校へ進学しようと考えました。しかし相談した結果、サテライト校の双葉翔陽高校を志願することに決めました。進学先を決

めるのに、約一カ月かかりました。自分で悩み考え、決めた高校で有意義な生活を送りたいと思います。



綾夏さん 安齋
安積中1年
(新町)

三月二十三日は私の卒業式でした。この地震、原発事故により卒業式を行うことができずでしたが、私達の両親、先生方のおかげで「手作りの卒業式」を行うことができました。とても記念に残る卒業式でした。

富岡に戻るのは何年後になるかわかりませんが、いずれ戻れる日がきたら、あの桜の木の下で同級生みんなと卒業式をやりたいと思います。「二小六年のみんな、頑張ろうね！」



my home town ～あの日から未来

頑張っていくこと、いつかまた故郷の富岡町に一日でも早く戻れることを願って、これから生活していきたいと思えます。

Our Tomioka will
come back someday



光代さん 萩原
(王塚) 志貴さん
写真 長男・斗貴さん
長女・千尋さん

今までに経験のない雪降る里での避難生活も早一年が経ちました。当初は不安ばかりで何も考える事が出来ない状態でしたが、今では仮設住宅での生活にも徐々に慣れて、毎日元気に登校する子供達の姿に笑みすらこぼれるようになりました。

避難当初はまわりに知人もおらず、不安が増すばかりでしたが、その中でも新たな出会いに恵まれました。心優しい三春の方々の温かい気持ちにも助けられ、希望を持てる様にもなりました。心からありがたく思っています。



一義さん 三瓶
(仲町)

避難されている皆さん、元気に過ごしておいででしょうか。私は思わぬところで楽しんでいきます(´▽´)

三男は電気工事士、青森県大間町の仕事がキャンセルになり、静岡県御前崎市へ半年程の仕事のため、嫁と三人の孫が私の所へ、また、楡葉町で一人暮らしだった義兄も一緒に現在家族七人、実に三十年ぶりの大家族。

十八年間二人で暮らした身には、正直「五月蠅い」と言うべきか。



由菜さん 五十嵐
(新夜ノ森)

大切な家族、友達と離れてしまい、誰とも話すことのない、相談することも出来ない状況で、五カ月の子供を連れての避難生活は、私に極度の

今、私は郡山市にいます。避難した最初のうちは辛いこともありましたが、家族や地域の方々、そして新しくできた友達のおかげで立ち直ることができました。

また、希望の高校にも合格することができました。これからは、自分の夢に向かって

ストレスの日々を与えられた。しかし、下ばかり向いては駄目!と思うようになってからは、新しい友達を作り、仕事を始めるまでの意欲を掻き立ててくれました。

確かに今置かれていた環境は大変かもしれないけど、良くするのも悪くするのも自分の気持ちひとつだと思っから、私は頑張つて上を向いて生きていきたいです。



大野久美子さん
(新夜ノ森)

一年なら待てると思つてたその時から、もうすぐ七回の避難の末、昨年五月からいわき市で生活していません。私の涙腺は既に壊れつぱなし、買い物をしていても、ここは富岡ではと錯覚をおこしたりもしています。

そんな中、我が母は「私はこんな時だからこそ百歳まで生きねっかなんね」とデイサービスで体力作り、一日四十分の散歩を続けています。四月には北海道に避難し

た友人に会いに行つてきました。

母の勇氣に感謝!
負けてたまつたか。



鎌田光利さん
(下千里)

たった一年だが、十年も過ぎたのではないかと思つほど、多くの苦勞や困難があつた。東電、国、町の行政への不満もつのも、腹も立つた。最終的に大玉村仮設住宅への入居が決まり、自治会長としての役目を果たしながら隣人達との絆を深め、助け合いながらの充実した日々を送つていくことは、私にとって最大の喜びである。

支援物資など、温かい皆様からのご支援のおかげで人並みの暮らしができていくことへの感謝の心を忘れず、頑張つております。



西山圭さん
(小浜)

私は現在、泉玉露仮設住宅に住み、そこで連絡員をしております。仮設住宅内の諸問題に悩む一方、イベントの企画にも関わり、参加された住民の皆様のパワーに元気を頂くことも多々あります。この半年、ここで富岡の皆様と新たなつながりを持てたことは、私にとって大きな財産です。また、ボランティアの方々を始めとする様々な支援にも大変感謝する日々です。

あの大事から一年、心身共に振り廻されて疲れきみです。美しま、ふくしまが世界の「福島」となった。唯今、安達太良の麓大玉村仮設住宅での生活です。雪国でしか体験できぬ企画には積極的に参加し、冬の自然観察にチャレンジ。雪山美を満喫できた。目に見えぬ放射能は全く怖い。「頑張ッテ」と世界の国からの応援歌。感謝、人々の出会いから、温かい心、絆の強さを学び得た。復興元年「福島の復興なくして日本の復興なし」信じます、古里の強さを。



三瓶タカさん
(仲町)

状況がガラッと変わつてしまったあの日から一年。一番辛く苦しい思いをしてきたのは子供たちだと思ひます。

このような状況の中でも、長女は三春町内に設立された富岡小中学校へ、長男も同じく町内に設立された三春せきれい保育施設へ落ち着く事が出来ました。少人数ではありますが、明るく元気に通つていく姿を見ていると、下を向いて悩んでばかりではなく、前を向き今を楽しみながら懸命に生きようと思わされま



渡部沙矢可さん
(小浜)



大原泰夫さん
(中央)

初めに避難した福島市からいわき市に移つて来ました。震災発生からしばらくは何も手に着かない状態でしたが、

お客さんや仲間から励まされ、自分の生業(内装工事)は「暮らしの空間」を提供する仕事、復興の一助になればとの希望を込めながら、一生懸命働いています。

依然として先が見えない部分もありますが、前向きに頑張っていきたいと思っています。



矢内 隆久さん
(中央)

月に一度、町より許可を得て納骨と供養をしております。

また、自らが住職を務める龍台寺の檀家の皆様と連絡を取り合いながら、お互いの近況を交し合う日々です。

過日、寺の宗派が発行している機関紙「禅の風」の取材を受け、記事が掲載されました。また、先日、檀家の皆様とお会いする機会があり、久しぶりの再会を喜び合いました。



大和田克司さん
(西原)

取る物も取らずの避難。隣県、茨城に落ち着きました。おかげ様で、避難先で職を得ることができました。私の場合、子供たちは既に独立しているので一人暮らしです。こちらに落ち着いたとはいえず、日も浅く、近くに知り合いが少ないため遊びに行くにも知り合いのいるいわき市まで出かけます。



菊池 俊成さん
陽子さん
(中央)

先日、菩提寺(龍台寺)の住職さんや檀家の皆さんとの旅行に参加しました。久しぶりの再会で、楽しい旅行になりました。震災以降、避難のため今は家族がバラバラに暮ら



しています。また以前のように、家族みんなが暮らせる日が来ることを待ち望んでいます。



伏見 淳子さん
(本町)

富岡町商工会女性部で「いわき在住者の集い」代表を預からせていただいております。

私自身も含め、各地で皆さんがバラバラに避難生活を続けていますが、月に一度、お集まりになる皆さんと会えるのがとても楽しみです。



坂本 安吉さん
(西原)

檀家になっているお寺、龍台寺の旅行に先月参加しました。

震災発生から、本当に久しぶりの再会となり、とても楽しいものでした。ふるさとの知り合いに会えることはとても嬉しいことです。



関根ミヨ子さん
※前列右
(小浜)

おじいちゃんとおばあちゃんには埼玉で避難生活をしていますが、息子夫婦が近くにいるので何かと安心です。

震災前まで町内でやっていた社交ダンスの仲間が、私の避難先の近くにいることがわかったので、時折連絡を取り合っています。



武士アイ子さん
(中央)

先月、顔見知りの皆さんと震災以降久しぶりに再会する機会があり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今は、震災前のように早く富岡の自宅に帰れることを望む日々です。



横須賀初男さん
章さん
(新町)

不自由な避難生活ですが、家族みんなが暮らすことが出来るだけでも幸せだと思います。そんな中ではあります。孫がこの四月から大学へ進むことになりました。

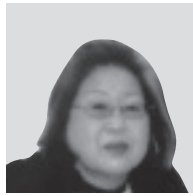
最近、いわき在住者の集いを通して、月一回ではあります。富岡の皆さんとお会いしてお話できることが楽しみです。



稲元 シツさん
(中央)

震災後、しばらく東京で暮らしていましたが、いわきへ引越して来ました。いわきは富岡と気候が同じでも過ごしやすいです。近くには知人もおり、会えば気の知れた仲間同士、話に花が咲きます。

子供や孫、親せきと離れ離れになってしまいました。新緑の季節が来たらまたみんなで集まって、賑やかな時を過ごしたいです。



坂本美智子さん
(西原)

商工会女性部「いわき在住者の集い」に参加しています。先のない避難生活が続く中ではありますが、毎月その集いの場で富岡の皆さんとお話できるのが楽しみです。



富永 悦子さん
(清水)

息子の住んでいる横須賀市で避難生活を続けています。震災と原発事故が発生するまで長年暮らしてきた富岡町から遠く離れてしまいました。富岡での日々、その思い出に心を寄せながら、日々生活しています。



菅野須美江さん
(夜の森駅前南)

震災以降、避難のため母親とともに県内数カ所を転々としてきました。

今は富岡町内にあった勤務先が新地町で事業を再開したため、母と共に相馬市内で生活しています。

避難後二回ほど自宅に一時立ち入りしましたが、人の姿が

消えた街は、正直、怖いなと感じました。
また富岡で暮らせる日が来ることを願いつつ、働きながら母と共に頑張つていきます。



佐藤 敬介さん
(西原)

実家のある千葉県から富岡町に来て十一年間、海も山もある富岡町が大好きで、休日にはバイク仲間とツーリングを楽しむ日々でした。

震災の翌日から、勤務先の後輩と共に、川内村、いわき市、千葉県の実家と避難を続け、現在は、町内にあった勤務先が新地町で事業を再開したため、相馬市で生活しています。



林 秀孝さん
(上本町)

私は会社の事業再開のため相馬市、妻と高校生の長男は神奈川県、両親は県内の借家で、家族バラバラの生活を強いられています。

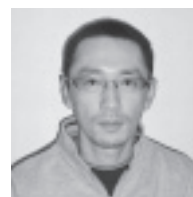
避難生活が始まって以降、情報も少なく先の見えない状態が続いていますが、自分ができる限りのことをしながら、家族の将来のために一生懸命働いています。



渡邊 藤子さん
(夜の森駅前南)

町内にあった勤務先が新地町に移転し、事業を再開したため、震災の一週間後から相馬市で生活しています。避難のため、近くに住んでいた家族と会えない日々が続いています。

同じ浜通りとはいえ、慣れない雪に戸惑いながらも、またいつか、自宅から歩いてでも行けた夜ノ森の桜を観られることを願う日々です。



佐藤 忠さん
(新夜ノ森)

富岡町で育ち、自営業で地元で商売をしていた私は、富岡町しか知りません。帰れる場所は富岡町だけだと思います。

ただ、中学生、高校生になる子供たちが自立するまで、また、富岡町が本当に生活できるようになるまでは、やはり数年かかるでしょう。

辛い、家族、両親、兄弟とも、それぞれの避難先で元気に暮らしています。不安もありますが、あまり焦らず、今の生活をのんびりと楽しみたい。今後の生活を前向きに進んで行きたいと思っています。





佐藤 学さん
昭子さん
(中央)

横浜に住む次男の自宅に約二ヶ月世話になり、昨年五月、兄弟や知人が集まって来たいわき市へと移りました。

まもなく震災から一年になります、近くに旧知の仲間がいるのは安心します。今月中には市内郷ヶ丘に引越します。

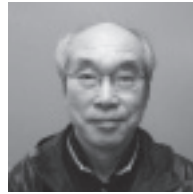


宍戸 弘道さん
(新夜ノ森)

震災、原発事故時は、団員自身や家族の事も大変な時に、多くの消防団員が町民の避難誘導や避難所で活躍した。

その後バラバラになってしまった団員も、徐々に連絡網を整えようと、ふる里、そして町民のために活動できる体制を整えている。
怒りや不安はまだまだあ

るが、団員一人ひとりが消防団魂を胸に精進しようではないか。
最後に、団員始め町民の皆様の健康を唯、お祈りするばかりです。



菅野 雄一さん
(夜の森駅前南)

一年前には夜の森で「ヤマザキショップペにや」としてコンビニを経営していましたが、まさか今こうして郡山で生活している自分がいる事が、今だに信じられません。しかし「今を精いっぱい生きなければ」と強く思うようになり、やっと働き始めました。
現在は、被災者の皆様が自由に立ち寄って、気軽にお茶を飲みながらお話ができる「ふくしま絆カフェ」という所で働いております。借り上げ住宅はもちろん、仮設住宅に住んでおられる皆様にも大いにご利用いただけるよう、心よりお待ちしております。



遠藤 圭一さん
(仲町)

早いもので、あの震災と原発事故から一年が経ちました。それまで、私、妻、両親、弟の一家五人で暮らしていました。今は、私たち夫婦が郡山市に、両親と弟がいわき市にと離れて生活しています。私はJAふたばの職員(富岡支店長)なので、現在は、JA郡山市安積総合支店内に開設された仮設窓口勤務しています。窓口を訪ねてこられる避難中の組合員をはじめとする富岡町民の皆さんとお会いするたびに、久しぶりに再会できたことを大変嬉しく思っています。これまで何度か富岡町の自宅や勤務先に一時立ち入り



していますが、変わり果てた自宅や町並みに、悔しさ、悲しさ、そして無念さだけがこみ上げてきました。
慣れない土地、郡山での生活。特に、この冬の雪と寒さは身に堪えました。また、いつか富岡で、あの夜ノ森の桜の下で、みんなでゆっくりとお酒を酌み交わしたい。そんな日がくることを願っています。

大震災以後、あつという間に一年が過ぎました。私は、もう二度と富岡に帰れないんじゃないかという気持ちと、将来がどうなってしまうのか不安でいっぱいでした。それでも、友人と再会したり、仲間と集まって趣味だったバスケットボールを再開することができて、不安だった気持ちも少しずつ変わりました。



大井川 洋之さん
(新夜ノ森)

震災から一年、仕事を辞めてしばらくは、何をしてもいいのかわからない日々が続いていました。今は絆カフェのスタッフとして楽しく働かせていただいています。

この一年で変わった事は、家族が増えた事です。これからは、どうなるのか、どうすればいいのか、まだまだ分かりませんが、家族のために頑張りたいと思います。



深谷 広次さん
(深谷)

大震災以後、あつという間に一年が過ぎました。

私は、もう二度と富岡に帰れないんじゃないかという気持ちと、将来がどうなってしまうのか不安でいっぱいでした。それでも、友人と再会したり、仲間と集まって趣味だったバスケットボールを再開することができて、不安だった気持ちも少しずつ変わりました。

これからは、富岡に帰って復興するんだという気持ちを持って生活していこうと思います。



借上げ住宅の受付延長

これまで、4月以降の新規受付を見合わせてしていました「福島県民間住宅の借上げ住宅制度」については、本町の強い要望に基づき、福島県と厚生労働省との調整の結果、4月1日以降も引き続き、「新規受付」「住み替え」「県外から県内に戻られる場合」の受付が可能となりましたので、お知らせいたします。

げ住宅班

☎024-521-7520

富岡町災害対策本部住宅支援班

**平成24年度
自動車税の定期課税**

平成23年度は東日本大震災の影響により課税時期を延期しましたが、平成24年度は5月31日(木)を納期限として課税を実施します。

納税通知書は5月上旬頃に4月1日現在の所有者へ送付されます。

☎0244-26-1124
固相双地方振興局 県税部

自動車の変更登録を忘れずに

自動車税は、毎年4月1日現在の自動車の所有者(割賦販売の場合は使用者)に課税される県税です。自動車を使用していない場合や、他人に譲ったり廃車するなどにより実際に自分が持つていない場合でも、3月末日までに管轄の運輸支局などで所有権の移転や抹消の手続きを済ませていないと引き続き元の所有者に課税されますので、ご注意ください。

なお、転居したときに住民票を異動させても、車検証の住所は異動になりません。自動車税の納税通知書は、車検証の所有者または使用者の住所に送付されますので、運輸支局などで住所の変更登録を忘れずに行ってください。

☎050-5540-2015

固福島運輸支局

軽自動車の譲渡・廃車の手続き

軽自動車税は毎年4月1日現在を基準日として、軽自動車を所有している方に課税さ

れます。

住所や名義の変更、廃車、譲渡などで車を手放した場合、運輸支局等での手続きが必要ですが、使用していない軽自動車等の廃車手続きは、3月末までに行わないと、4月1日時点の所有者に課税となりますので、ご注意ください。

※軽自動車税については、課税が決定次第、広報等でお知らせします。

固税務課 納税係

	連絡先	電話番号
普通自動車 (白・緑のナンバー)	福島運輸支局	050-5540-2015
	いわき自動車車検登録事務所	050-5540-2016
軽自動車 (黄・黒のナンバー)	軽自動車車検協会福島事務所	024-546-3222
	軽自動車車検協会いわき支所	0246-44-4660

**ふるさとふくしま
就職相談ステーション**

ふるさとふくしま巡回就職相談ステーション(福島県委託事業)では、避難生活を余儀なくされている求職者の方の生活再建を促進するため、就職相談、希望求人の開拓、職業相談などを行い皆さまの就職をサポートします。お気軽に各ステーションへご連絡ください。

◆ふるさとふくしま巡回就職相談ステーション福島
福島市丸子字町頭17-6
OS丸子ビル1F
☎024-554-4156
FAX024-554-4157

◆ふるさとふくしま巡回就職相談ステーション郡山
郡山市菜根5-11-3
ケイ企画ビル2F
☎024-925-0811
FAX024-925-0812

**個人線量計の貸出しを実施します
～小学生と中学生の皆さんが対象です～**

富岡町では、町民の健康管理を推進することを目的に、小学生と中学生が自ら放射線量を確認できる環境を整備するため、積算線量計の貸し出しを行います。

◆対象者 貸出日現在、富岡町に住民登録があり、かつ次の要件を満たす方

- ①小学生(平成11年4月2日から平成17年4月1日に生まれた方)
- ②中学生(平成8年4月2日から平成11年4月1日に生まれた方)

◆貸出期間 貸出日から2週間以内(測定期間として1週間、返却に要する期間が1週間)

◆線量計等 デジタル式の積算線量計

◆提出書類 申請用紙等は教育委員会に備え付けてありますので、お電話にてご連絡ください。町ホームページ(富岡町役場東日本大震災関連サイト)からダウンロードすることもできます

固富岡町教育委員会 教育総務課

町民交通傷害保険申込受付中

町では、交通傷害保険の加入受付を行います。

車両(自動車・バイク・電車・自転車)等に乗っていて衝突したり、転倒した場合に保険対象となりますので、避難先の慣れない土地での事故に備え、家族ぐるみで加入してはいかがでしょうか。

24年度は平成24年4月1日現在、富岡町に住民票を有する事を条件とし、年額一口480円(月額40円)で、1人二口まで申し込みできます。

また、町では下記の『補助加入できる方』に挙げた方々に一口分の補助を行っていただきます。補助加入の申請につきましては町で行います。(ただし保育所及び幼稚園に通う児童は申請が必要となります。対象児童がいると思われる世帯へは、個別に補助申請書を送付しています)

なお、追加の加入につきましては、自己負担での加入となります。

加入受付は、富岡町役場郡山事務所生活環境課・いわ

き・三春・大玉の各出張所で受け付ける他、左記の表により担当者による仮設住宅出張受付を実施いたします。

■補助加入できる方(平成24年4月1日付けで富岡町に住民票を有する方)

- ・避難先の保育所に通う幼児
- ・避難先の幼稚園に通う園児
- ・避難先の小学校に通う児童
- ・避難先の中学校に通う生徒
- ・70歳以上の方(4月1日で70歳以上の方が対象です)

■支払われる主な保険金(一口につき)

- ・亡くなったとき 100万円
- ・重度の障がいが残った場合 100万円
- ・治療を受けた場合 5千円～12万円

※10万円以上の請求を行う場合、事故証明を必要とすることから、重度の怪我を負った際は警察へ連絡してください。

※散歩等で転倒した場合は対象となりませんのでご注意ください。

※平成23年度につきましては、災害対応につき一般加入受付を実施できません。

したが、保育所・幼稚園・小学校・中学校に通う児童並びに生徒及び70歳以上の高齢者につきましては、補助申請を省略し加入手続きを致しました。該当する方で交通事故に遭われた方は、生活環境課までご相談ください。

日常生活環境課 消防交通係

医療費窓口負担免除

保険適用となる医療費(通常内科の入院及び外来・歯科・処方による調剤)の免除が、平成25年2月28日まで延長となりました。ただし、保険適用であっても入院時食事代等・接骨院・あんま・はり灸・治療用装具(補装具)等については平成24年2月29日で免除終了となり、窓口負担(1～3割)が発生しますのでご注意ください。

なお、医療機関受診の際は、保険証を忘れずに提示してください。(被災証明は提示不

大切な郵便物を受け取るために

旧住所(富岡町)あての郵便物の転送は、郵便局に転居届を出してから1年間です。

継続して転送を希望する方や、避難先住所が変更になった方は、お近くの郵便局の窓口で転居届を出しましょう。

要です)

○富岡町国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入の方

富岡町役場 国保年金係

○転出された市区町村で国保・後期高齢者医療保険に加入の方

避難先の市区町村役場の健康保険担当部署

○社会保険・国民健康保険組合等に加入の方

お持ちの保険証に記載の保険者または事業所

平成24年度いわき市新卒者
就職サポーター事業参加者募集

いわき市では、新卒未就職

者(一部既卒者含む)を対象とし、セミナーの受講により就職活動能力の向上が図れる「学びの場」、希望する職業への早期就職に導く「支援・相談の場」、いわき市の臨時職員等への雇用により就職活動が十分に行える「働く場」を一体的に提供することにより、早期の就職につなげることを目的とした「いわき市新卒者就職サポーター事業」を実施します。

▼対象者

(1)いわき市に在住する平成24年3月高校、大学等の新卒未就職者

(2)いわき市に在住する平成22年3月以降に高校、大学等卒業の未就職者で卒業後3年間で継続して1年以上同じ事業主に正規雇用されていない方

※(1)(2)とも、市外高校・大学等を卒業し、いわき市に就職を希望する方も含みます。

※過去に実施した、いわき市新卒者就職サポーター事業に

参加された方は含みません。

▼内容

(1)就職スキルアップ・セミナー

(2)支援・相談による就職に向けたフォローアップ

(3)市直接雇用または市委託事業における臨時雇用(希望者のみ)

▼実施期間

平成24年4月～平成25年3月
セミナー 4月～7月の毎週金曜日(1日3時間 計10回)

▼臨時雇用

4月～3月(1年未満)※雇用される事業により異なります

▼会場

セミナー

いわき市生涯学習プラザ
いわき市平字一丁目1番地
ティーワンビル内

臨時雇用

いわき市役所(本庁舎)及び各公共施設等

▼費用負担

無料

▼定員

100名(うち、臨時雇用を希望する方の雇用人数44人)

▼申込方法

電話もしくは、いわき市

ホームページよりダウンロードした申込書によりFAXかメールにて申し込みください。

※就職サポーター事業参加者のセミナー受講は必須となります。

いわき市役所商工労政課

労政係

☎0246-22-7478
FAX0246-21-0892
shokorosei@city.iwaki.
fukushima.jp

生活再建等相談を行っています

県では、生活設計等の専門家(ファイナンシャル・プランナー)による生活再建等相談を実施しています。「債務整理をしたが、これからの生活をどうしよう」「収入が減少したので住宅ローンの返済や保険の見直しはどのようにすればよいだろうか」「地震保険・生命保険等の請求はどのようにしたらよいか」など債務整理後の生活設計や金融・保険等の消費生活相談をお受けします。

▼相談日時

毎月第4木曜日

13時～17時

※相談者一人あたり30分

▼料金 無料

▼相談方法

来所相談(要予約)及び電話相談

▼会場

県消費生活センター(消費生活課)

福島市中町8-2

(自治会館1階)

※駐車場は県庁駐車場をご利用ください。

福島県消費生活センター

☎024-521-0999

被災地障がい者交流サロン
しんせいがオープン

しんせいは、障がいをお持ちの方の閉じこもり防止と、ふれあいの場としてオープンしました。

茶話会や、各種イベント(障がい者福祉関係・震災関係・放射能関係などの勉強会)などを開催しています。お気軽にお立ち寄りください。

障がい者交流サロン

しんせい

☎024-9883-8138

郡山市西の内1丁目25-2
郡山駅から車で15分
太田西ノ内病院東側

ふるさと絆情報ステーション
新たに2店舗開設

民間借上げ住宅等に入居されている皆さまが町の情報を得たり、情報交換や交流の場として活用いただける「ふるさと絆情報ステーション」が新たに2店舗増えました。是非ご利用ください。

	店舗名	営業時間	住所
福島市	ヨークベニマル 野田店	10:00~20:00	福島市野田町4丁目1-1
	コープふくしま コープマートやのめ	10:15~20:00	福島市南矢野目字向原1-1
	ダイユーエイト 福島黒岩店	10:00~20:00	福島市黒岩字浅井77-1
郡山市	ヨークベニマル 安積町店	10:00~20:00	郡山市安積2丁目121
	ヨークベニマル 富久山店	10:15~20:00	郡山市富久山町久保田字上野136-1
	イオンリテール イオン郡山フェスタ店	10:00~20:00	郡山市日和田字小原1
いわき市	ヨークベニマル 大原店	10:15~20:00	いわき市小名浜大原字東田96
	ヨークベニマル 谷川瀬店	10:00~20:00	いわき市平谷川瀬字双藤町63
	イオンリテール イオンいわき店	10:00~20:00	いわき市平字三倉68-1
会津若松市	リオンモール 神明通り店	10:00~20:00	会津若松市中町4-36
	コープあいづ COOP BESTA にいでら	10:15~20:00	会津若松市門田町大字飯寺字村西385-2
白河市	ヨークベニマル メガステージ白河店	10:00~20:00	白河市新高山19
南相馬市	ヨークベニマル 原町西店	10:00~20:00	南相馬市原町区南町4丁目7-1

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位：マイクロシーベルト/h)

測定場所	3月6日(くもり)		測定場所	3月2日(くもり)	
	地上1 m	地上1 cm		地上1 m	地上1 cm
下千里消防屯所	4.08	5.01	小浜住宅団地内公園前	6.50	8.18
上千里消防屯所	3.03	3.92	双葉環境センター	3.06	3.92
杉内消防屯所	3.30	4.01	NHK電波塔入口(浜街道)	6.36	9.67
第二工業団地入口	3.56	5.04	深谷集会所	8.31	11.80
高津戸集会所	6.83	10.40	赤坂神社前	9.57	12.40
富岡第二中学校	2.81	2.64	太平洋ブリーディング前	17.60	26.30
新夜ノ森集会所	7.71	11.50	みよし前交差点	11.30	17.90
夜の森公園	3.43	5.12	富岡自動車学校前	11.30	16.90
松の前待避所	13.30	21.00	リフレ富岡	6.70	8.27
小良ヶ浜集会所	9.03	11.90	東洋育成園前	5.92	6.98
町境(小良ヶ浜地区)	6.51	8.75	富岡インター駐車場	5.94	6.37
深谷消防屯所	7.46	11.50	上手岡児童館	4.23	4.40
富岡野球場	6.98	9.95	下千里ライスセンター前	4.23	5.10
観陽亭前	1.31	1.36	館山荘前	5.37	5.27
富岡合同庁舎西側	3.58	5.88	夜の森つつみ公園	6.66	9.11
富岡養護学校	5.22	7.43	総合グラウンド東側駐車場	5.53	10.10
老人福祉センター	7.58	10.80	華の樹前	9.15	11.70
夜ノ森駅	9.36	12.60	宝泉寺前	4.75	7.16
王塚集会所	7.28	10.90	国道6号第二原発入口前	1.66	2.21
諏訪神社前	5.56	7.81	猪狩スタンド前	1.76	2.64
上本町消防屯所	4.17	6.74	なべや駐車場前	1.52	1.68
上本町集会所	3.88	5.27	大東銀行富岡店前	3.86	5.41
リベラルヒルズ入口	3.19	4.73	富岡漁港	1.19	1.22
赤木集会所	2.37	3.19	サンライズイン富岡前	1.52	2.54
上郡山集会所	2.93	3.30	福島富岡簡易裁判所前	2.99	4.83
太田集会所	1.52	2.26	ヨークベニマル富岡店前	3.43	5.51
原下消防屯所	1.38	2.02	今村病院前	6.34	10.40
富岡駅	0.60	0.45	福島銀行富岡支店前	3.36	5.91
清水消防屯所	2.30	3.80	龍台寺前	3.57	5.43
役場	2.76	4.18	清水団地前	2.98	3.49
浄化センター	0.92	0.82	猪狩電気通信工業前	3.37	5.59
毛萱集会場	0.81	1.00	上郡消防屯所	2.87	4.16
富岡保育所	2.86	3.00	岩井戸鉱泉	1.68	2.09
中央児童館	3.33	4.65	富岡工業団地	2.41	3.59
栄町駐車場	2.62	3.41	成沢の滝入口	2.18	1.95
岩井戸消防屯所	1.97	2.69	沼名子橋	3.45	5.45

測定器：γ線用シンチレーションサーベイメータ(日立アロカメディカル社製)

【年間放射線量 算出方法】 ※1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内(遮へい効果(0.4倍)のある木造家屋)に16時間滞在するという生活パターンを仮定した場合
今回の測定値×(8時間+0.4×16時間)×365日=年間放射線量(マイクロシーベルト)

連絡先一覧

○富岡町社会福祉協議会

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32
富岡町生活復興支援おだがいさまセンター内
☎024-935-3345 FAX024-935-3334

○財団法人富岡町体育協会

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-2826-0227 FAX024-961-1301

○NPO法人さくらスポーツクラブ

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-3141-0068 FAX024-961-1301

○富岡町生活復興支援おだがいさまセンター

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32
☎024-935-3332 FAX024-935-3334

○富岡町さくらサロン

〒960-8253

福島県福島市泉字泉川15-7
☎024-557-8780

○ふくしま絆カフェ富岡

〒963-8833

福島県郡山市香久池1丁目20-27
☎024-925-2337

○富岡町役場郡山事務所

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX 024-961-3441

・富岡町役場郡山事務所分室 一時帰宅対策班

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字反田5-5
☎0120-33-6466 FAX024-953-6391

・富岡町教育委員会

〒963-0107

福島県郡山市安積1丁目39-1
山口薬品ビル内(安積行政センター東隣)
☎0120-33-6466 FAX 024-945-0348

○いわき出張所

〒970-8026

福島県いわき市平字梅本15
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階
☎0120-33-6466 FAX0246-88-1975

○三春出張所

〒963-7719

福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
☎0120-33-6466 FAX0247-62-0901

○大玉出張所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
☎0120-33-6466 FAX0243-48-1147

・大玉仮設診療所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎0243-48-4710 FAX0243-48-4710

○富岡町議会事務局

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX024-961-3441

避難先届出のお願い

避難先住所の届出をされていない方や避難先を移動された方は、電話等により避難先の情報をおだがいさまセンターに届け出てください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

発行 富岡町 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

TEL : 0120-33-6466 FAX : 024-961-3441

E-mail : tomioka.machi@gmail.com

富岡町役場東日本大震災関連サイト <http://www.tomioka-town.jp/>

郡山駅前9番乗場発 新池下団地行きまたは 大槻行き
停留所 西の宮停留所

